



# いいで

学校便り 第17号

喜多方市立山都小学校

平成29年2月27日(月)

文責 校長 菊地 誠

## 3月3日(金)は、今年度最後の授業参観・学年懇談会です。

先日、PTA常任委員会で今年度の授業参観、全体会、懇談会、救命救急講座、家庭教育学級等の参加状況についての説明がありました。授業参観は3回とも80%の参加があるものの、4月と7月の学級懇談会は参加率が63%と53%と低く、まだまだ「授業だけを見て全体会・懇談会不参加」という傾向が多く見られます。

懇談会の意義は、子どもたちが健やかに成長していくために、懇談会で具体的な事例を出し合って話し合い、保護者と教師がコミュニケーションを深め、協力関係を築き、教育効果を上げていくことです。親同士が情報交換し、自分の子育てについて振り返りながら、子どもとともに親自身も成長する機会にもなります。年に数回の限られた懇談会です。「知ってる人がいないから」「話しをするのが苦手だから」等の理由で参加を渋っている方があれば、この機会にぜひ参加してみてください。



## 鼓笛の練習をがんばっています。

3月7日(火)に行われる鼓笛隊移杖式に向けて、2年生から5年生までの子どもたちは、毎日、昼休みを使って鼓笛の練習に取り組んでいます。2学期は6年生がパートごとについて指導してくれましたが、3学期からは5年生を中心に自分たちで練習を行っています。

2月22日に初めて全体練習が行われ、すべてのパートが揃って全体を通して演奏しました。初めてにしては上出来でしたが、練習で指導されたことを移杖式までに直して、すばらしい演奏になるようがんばっています。



## 在校生に伝えたい思い～「残したい山都小のよい伝統」～

先週から6年生との会食が始まりました。毎日3人ずつ交代で給食を校長室で食べるものです。給食を食べながら6年生に「残したい山都小のよい伝統だなと思うこと」を聞いてみました。その結果、多かったのが縦割り清掃、落ち葉集めや雪かきのボランティア活動でした。本校では、1年生から6年生までの縦割り班で清掃を行っています。6年生が1年生に雑巾の絞り方やかけほうぎの使い方を教えたり、一緒に机を運んだりします。落ち葉集めや雪かきは、朝それぞれ登校した5、6年生が自主的に行っています。縦割り清掃やボランティア活動は山都小が開校して以来ずっと続けられています。在校生は6年生の「思い」をしっかりと受けとめて、これからも山都小学校の伝統として引き継いでいってほしいと思います。6年生の皆さんありがとうございました。

